

2024 シーズン広島国際大学硬式野球部組織・チーム方針等

1. 役員等

【選手役員】

- 主 将 石橋 颯（心理学科 3年）
主 務 原田 河門（健康スポーツ学科 2年）
副主将 福地 情（医療経営学科 3年）
学生コーチ 重松 貴浩（心理学科 4年）、原田 河門（健康スポーツ学科 2年）
マネージャー 木村 香琳（医療栄養学科 4年）、北川 夢来（健康スポーツ学科 2年）

【スタッフ】

- 顧問 塩川 満久（健康スポーツ学部教授）
部長 長谷部 隆一（健康科学部教授）
G A 栃岡 清人（事務職員）
総監督 藤岡 美樹（事務職員）
監督 西亀 圭二（事務職員）
副部長 徳毛 悠真（保健医療学部講師）
副部長 平田 耕造（事務職員）
コーチ 山本 康太（事務職員）
外部コーチ 石丸 和樹（投手コーチ）
分析担当 宮崎 龍二（健康スポーツ学部教授）

2. チーム方針

【目標】全国大会に出場して勝つ

【スローガン】覇気

【目指すチーム像】①誰が試合に出ても勝てる

- ②チームが勝つために自己犠牲ができるチーム
- ③チームが勝つために1枚岩になれるチーム
- ④当たり前を増やす

【監督方針】①目標に向かって、一人ひとりが悔いのない行動をする。（中途半端をしない）

- ②100%できることは確実にやる。100%に近付けることを増やす。
- ③地域・大学から応援される部となり中四国地区を代表するチームに成長する。
- ④考えの違いを理解したうえで目標達成をめざし全員で成長する。
- ⑤良い挨拶、良い準備、（野球のプレーで）迷ったら前へ。
- ⑥ミスをして下を向かない。切り替えと次への改善。

守備：①一つ一つアウトを積み重ね、出来るプレーを確実にする。

- ②ゴロを捌きやすいポイントで捕球する。塁間を低くて強い送球をする。
- ③プレーを想定した意味のあるコミュニケーション。

④ミスを流さず、互いに指摘する。

⑤相手を思いやるプレーをする。

走塁：①全力疾走。(足が速い、遅いではない)

②走塁意識を高める。(スライディングをする、試合展開が変わるボーンヘッドを無くす、ワンバngo※投球練習から観察して準備、シングルヒットを相手の隙を見てツーベース、2塁からワンヒットでホームインなど)

打撃：①積極的に振る、甘い球を一球で仕留める。チャンスでファーストストライクをスイング。

②振る力をつける。(打つ機会が最も多い)

③意味のないフライを打たない。

④バントは両サイドに確実にする。バントは全員に求める。バスターも準備。

⑤低めのボールの見極め。(振ってはダメでなく、ここから下は振らない位置を決める)

投球：①覚悟と責任を持ってマウンドに上がる。

②そのための準備と行動をする。

姿勢：①全国大会に出て恥ずかしくない行動をする。

②メリハリをしっかりとる。

学生生活：①野球の前に単位をきちんと取るなど成績を最優先とする。

②ボランティアなどの集団行動は他者が心地よい気持ちとなる服装と行動。

③挨拶は心を込めて相手に敬意を表す。

④広島国際大学野球部員は本学の模範学生であること。

【約束事】①チームの方針・決まり事を守る。

②批判するのではなく意見を提案する。

③時間を守る。

④道具の整理整頓。(ボールの仕分け等)

⑤チームのための行動をする。(練習準備や整備等)

⑥硬式野球部員としてふさわしい行動と身だしなみを徹底する。

4. 年間計画 (詳細は別途作成)

2024年 1月 練習開始

2月 練習、OP戦

3月 練習、OP戦

4月 練習、OP戦、春季リーグ戦

5月 練習、OP戦、春季リーグ戦

6月 練習、OP戦、新人戦、全日本大学野球選手権大会

7月 強化練習、OP戦

8月 練習、OP戦

9月 練習、OP戦、秋季リーグ戦

10月 練習、OP戦、秋季リーグ戦、明治神宮野球大会

11月 練習、OP戦

12月 練習納め、新入生ユニホーム採寸等

以上

凡事徹底

当たり前のことを徹底。徹底を続けることが組織の力になる。

継続は力なり

他者に言われてやるのではなく、自分の意志で継続する。

自分自身が後悔しない選択をする。やり切る。

狙う・攻める

狙われるものより、狙う方が強い。自分たちで流れを手繰り寄せ、勝ち取る。

メリハリ・積み重ね